



とらいあんぐる



2014 年 11・12 月

一音会ミュージックスクール発行

「誕生日」

私ごとですが、つい先日、誕生日を迎えました。

誕生日が来るのが待ち遠しかった子どもの頃とは違い、大人になってからは、特に何かを思うこともなく、なんとなく誕生日を過ごしてきました。誕生日を忘れていた年も、少なくありませんでした。

しかしこの3年は、ある感慨をもって、自分の誕生日を迎えています。

それは「母が私を産んでくれた日」ということです。

40数年前、まだ健康だった母が、

みずからの人生をかけて、私を産んでくれたのだと、思うのです。

母は出産を機に発病していますから、「人生をかけて」は、決して大げさではありません。実際、命を落としかけました。

ああ、40数年前の今日、産んでくれたのだ・・・と思って見上げると、青空のむこうに、亡き母の顔が見えるような気がします。

自分が母親になってみますと、実は誕生日は、本人よりも、母親のものであると感じます。

子どもの誕生日を迎えるたび、たとえ何年前のことであっても、わが子を

はじめて抱いた、あの日に心が飛んでいきます。

たいへんではあったけれど、この上なく幸せな日が、一瞬にしてよみがえるのです。

私の子どもたちは、もうかわいさかりはとうにこえ、生意気な思春期に入っています。

それでも、新生児にはじめて触れた、あの日の感動がうすれることはありません。あの日の思い出は、日々のあれこれを一瞬にして忘れさせる力があります。

もしかしたら、子どもたちが、大人になっても・・・たとえおじさん、おばさんと呼ばれる歳になっても・・・、私が生きているかぎり、子どもの誕生日は、あの日を思い出させ、幸せな気持ちにさせるものなのかもしれません。

母が、この「とらいあんぐる」を書きはじめた、ごく初期の号に「あなたが生まれた日」というタイトルのエッセイがあります。

まだ幼かった母が、自分の母親に、こうききます。

「お母さんが、これまでで一番、幸

せだと感じたのはいつ？」

母親はにっこり笑って、答えます。

「あなたが生まれた日よ」

幼い母は、母親というものの大きな愛情を感じ、満たされた気持ちになります。そんな話です。

母はその言葉が大好きでした。それこそ、その言葉を宝物のように思っていました。

こんなに、お母さんというものの無上の愛情を感じさせる言葉はないと、思っていたのでしょうか。

「とらいあんぐる」のエッセイ部分だけを集めたエッセイ集第1巻のタイトルにも「あなたが生まれた日」とつけました。



江口寿子エッセイ集 第1巻

「あなたが生まれた日」

そして母は私を産み、私に同じ言葉をいいました。

「お母さんがこれまでの人生で、一番幸せだと感じたのはね・・・、あなたが生まれた日よ」

かつて、私の誕生日を、一番喜んでくれた人は、母だったのかもしれませんが。

今、私が母となって、子どもの誕生日に、あの日の記憶をよびおこし、今までの軌跡をふりかえって、しみじみとした喜びを感じることから、そう思うのです。

母もまた、私が生まれた日の記憶を、反芻していたに違いありません。

私の誕生日は、母のための日でした。そんなことにも気がつかず、自分の年齢ばかり気にしていました。

自分の誕生日に、母に「ありがとう」をいわなかったことを、今、とても後悔しています。

これからは、私の誕生日は、私が母に感謝する日です。

母が私を産んでくれた、大切な日です。

誕生日は、誰にとっても特別な日です。誰かが自分のために命をかけてくれた日なのですから。

(江口 彩子)



◆「ピアノ・トライ」が終わりました

「ピアノ・トライ」が無事、終了いたしました。ご参加くださった生徒さん、ご家族の皆さま、本当にありがとうございました。

今年は、「ピアノ・トライ」を、11月の1か月の中に、おさめました。日数は、昨年までと変わっていません。

ご存知の方も多いように、例年は2か月くらいの期間をもうけて、日程を広めに設定していました（日程の間隔を、あえて離していました）。いろいろなご都合の方に対応するためにしてきたことですが、今年、試みに1か月を「ピアノ・トライ」月間として日程を集中させたところ、今のところ、「日程が離れていない方が予定が立てやすく良かった」というご意見を、多くいただいています。

これからも、皆さまにとって、もっとも受けやすいかたちの「ピアノ・トライ」を目指していきたいと考えております。ご家族の皆さまのご協力あって、今年もスムーズに進んだ「ピアノ・トライ」でしたが、もし日程についてご意見や感想をお持ちの方は、おきかせいただけますと幸いです。来年度からの参考にさせていただきます。

「ピアノ・トライ」では、今年も多くの上達を拝見することができ、嬉しい1か月でした。

「ピアノ発表会」とは違い、ごまかしのきかないエチュードやバッハは、基礎力があからさまになります。参加された多くの生徒さんが、日々の地道な努力を重ねて、確かな力を得つつあることを確認することができました。安心しています。

不足の勉強が見つかった場合には、コメント用紙でその旨をお伝えしています。コメントーターの先生は、言いにくいこともすべて、吐きだしました。「注意を受けてしまった・・・」とがっかりせず、ぜひこれからの練習の参考にしてください。「ピアノ・トライ」での指摘をもとに練習していただけたら、それこそ「ピアノ・トライ」の本来の目的にかなったことです。

先生たちは、昨年、コメントしたことも、案外おぼえているものです。翌年の「ピアノ・トライ」で、弱点が改善されていることを知った瞬間が、一番、嬉しい瞬間です。

また来年、「ピアノ・トライ」の場で、お会いしましょう。



◆アンデルセン先生が来日します

すでにお知らせしてきましたように、12月に、一音会の客員教授である、ブリュッセル王立音楽院教授、ダイアン・アンデルセン先生が来日されます。スケジュールは下記の通りです。

コンサート：12月 7日（日）

レッスン：12月 9日（火）・10日（水）

コンサートの詳細は、チラシをご覧ください。

いつも、アンデルセン先生の哲学やお人柄があらわれる、素晴らしいコンサートになります。今回も、一音会のために、特別なプログラムをご用意いただいています。ご希望の方全員（一音会の生徒さんでなくても）に、招待券をお渡ししています。お一人でも多くの方に、足をお運びいただけますよう、願っております。

◆アドヴァンスAコースの無料特別レッスン

一昨年度から、次年度のコースをお考えいただくこの時期に、アドヴァンスAコースのレッスンを、1回に限りどなたでも無料でお受けいただける制度をご用意してきました。毎年、ご好評いただいていますので、今年度も、この時期に限り、アドヴァンスAコース無料特別レッスンをおこなうことにいたしました。

次年度には、休職中の森永美穂子先生もレッスンを再開して下さいます。今回の無料特別レッスンもお受けいただけます（曜日をご相談ください）。

森永 美穂子先生 プロフィール

- 武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業、同大学院修了。ドイツ国立デトモルト音楽大学大学院主席修了、同大学演奏家国家試験過程を最優秀で修了。G・ベルゲ、J・ホラーク、A・v・アルニムの各氏に師事、G・ムニエ、C・エルフェ、A・ヤシンスキー、J・デームス、K・H・ケマーリンク、A・ウゴルスキーの各氏の下で研鑽を積む。ヨーロッパ各国で演奏活動をおこないつつ、国内ではピティナ・ピアノコンペティションの課題曲模範演奏のCDの録音他、日本クラシック音楽コンクール等、多くのコンクール審査員をつとめる。武蔵野音楽大学非常勤講師。
- 受賞歴：カルタニゼッタ国際コンクールピアノデュオ部門第3位。ノヴァ・ミラネーゼ国際音楽コンクール第1位。ヴァレンナ国際ピアノコンクール第3位。国際シューベルトコンクール特別賞。他受賞多数

アドヴァンス A コースの無料特別レッスンについて、多くの方からご質問を頂戴する点を、簡単にまとめてみました。

Q：「無料レッスンを受けたら、その先生にかわらなければ失礼になるのでは？」

→A：まったくそのようなことはありません。

Q：「何歳になったらアドヴァンスAでレッスンを受けられる？」

→A：ピアノを受けていらっしゃる生徒さんなら、どなたでも受けられます。未就学でアドヴァンスAの先生に習っていらっしゃる生徒さんは、実はたくさんいらっしゃいますし、絵音符の指導ができるAの先生もいます。

Q：「すでにAの先生のレッスンを受けている場合は、関係ない？」

→A：他のAの先生の無料レッスンを受けることができます。

Q：「2回、受けたい場合は？」

→A：2回目以降は、フリーチケット扱い（有料）になりますが、お受けいただけます。何人もの先生のレッスンを受けて、一番あう先生を探す生徒さんも、いらっしゃいます。

Q：「受けてみたいが、どの先生で受けたら良いか分からない」

→A：ぜひ本部にご相談ください(03-5966-7711担当:伊藤・矢島)。年齢や進度、先生に対する要望などをうかがって、アドバイスさせていただきます。

他にもお分かりにならない点は、お気軽に本部までご質問ください。

◆江口メソードセミナーを開いています

秋に、3回シリーズで「江口メソードセミナー」を開いています。9月は「絶対音感」、11月は「相対音感」、12月は「読譜」がテーマです。場所は、伊藤楽器 YAMAHA ピアノシティ船橋です。

一音会以外のピアノの先生方も、「江口メソード」について学び、実践して下さっています。

◆風邪の季節になりました

寒くなり、インフルエンザをはじめ、いろいろな病気が流行っています。すでに学級閉鎖に入った学校もあると、きいています。スタッフも、体調管理に、最大の注意を払っています。

それとともに注意したいと考えていることは、「教室が感染の場になってはならない」ということです。

スタッフは、レッスンの合間に鍵盤を消毒するよう努めていますが、時間的にかなわない場合もあります。生徒さんには、各教室の受付前の消毒薬をご利用いただくとともに、レッスンの前後の手洗いを、お願いいたします。

また、咳やくしゃみが出る場合は、マスクをご着用ください。生徒さん同士でうつしてしまうような事態は、避けたいと考えています。ご協力を、よろしくお願いいたします。

◆1年間、ありがとうございました

今年も、生徒さん、ご家族の皆さまの、惜しみないご協力とご理解をいただき、無事、1年を終えることができます。1年間、本当にありがとうございました。

新しい年が、皆さまにとって、素晴らしい年になりますことを、願ってやみません。

冬休み中、一音会本部は12月25日（木）より1月5日（月）まで、お休みをいただきます。毎週水曜日のお電話でのご相談・ご質問の年内最終日は、12月17日になります。ご



スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電 話：03-3954-9999

* お電話での質問時間は、毎週水曜日の午後7時半～9時半です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

* ご質問は、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。

2014 年のあゆみ

1月6日	新年のレッスンスター	
2月20日	プラグゲ先生 レッスン	於 ひびきホール
2月22日	プラグゲ先生 コンサート	於 ひびきホール
3月2日	第15回「フォルテの会」	於 ひびきホール
3月15日, 17日, 18日		
	プリドノフ先生ご夫妻 レッスン	於 ヘンデルはうす
3月16日	プリドノフ先生 コンサート	於 ひびきホール
3月21日	第9回「ジュニアコンサート・オーディション」	
		於 ひびきホール
4月7日～	2014年度レッスンスター	
4月28日	第9回「ジュニアコンサート」	於 ゆめりあホール
7月12日～22日	リハーサルトライ	於 ヘンデルはうす
8月1日～4日	2014年ピアノ発表会	於 かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール
11月3日	第16回「音楽の集い」	於 ひびきホール
11月8日	ピアノトライ 1日目	於 バッハはうす
11月9日	ピアノトライ 2日目	於 バッハはうす
11月16日	ピアノトライ 3日目	於 バッハはうす
11月23日	第54回「ル・コンセール」	於 ひびきホール
11月24日	ピアノトライ 4日目	於 バッハはうす
11月29日	ピアノトライ 5日目	於 バッハはうす
11月30日	ピアノトライ 6日目	於 バッハはうす
12月7日	アンデルセン先生 コンサート	於 ひびきホール
12月9日, 10日	アンデルセン先生 レッスン	於 ヘンデルはうす
12月14日	第55回「ル・コンセール」	於 ひびきホール

